

ガボン共和国月報（2015年3月）

2015年3月号
在ガボン日本国大使館

主な出来事

【内政】

- ストライキの長期化：オナ・オンド首相と労働組合との協議
- 農業振興政策「Graine」：ボンゴ大統領によるオグエ・イヴィンド州訪問
- 生徒・大学生によるデモ行進の実施

【外政】

- ボンゴ大統領によるAFRICOM米司令官との会談
- ボンゴ大統領によるナミビア訪問
- ボンゴ大統領によるボツワナ訪問

【経済】

- ガボンに対する中国の40億CFAフランに上る借款供与
- BEACによる加盟国に対する融資額上限の拡大
- 第1回税制政策会議の開催

【内政】

1 ストライキの長期化：オナ・オンド首相と労働組合との協議

9日、ボンゴ大統領の要請を受け、オナ・オンド首相は労働組合連合「Dynamique Unitaire」代表者との話し合いの場を設け、第4四半期の勤勉手当（PIP）の支払い、最低賃金8万CFAフラン（約16,000円）の15万CFAフラン（約3万円）への増額及び家族手当の増額等につき協議を行った。右協議の結果、ガボン政府は、10日にPIPの支払いを実施したが、他の要求についてはボンゴ大統領の判断を待つことにした。（10日付UN）

2 ボンゴ大統領の上院議長との会談

昨年12月の上院議会選挙の結果を受け新たに上院議長に選出されたミルブ・オビュソン議員は、11日、ボンゴ大統領と会談し、国政、特に、地方分権化の促進に向けて意見交換を行った。（11日付UN）

3 農業振興政策「Graine」：ボンゴ大統領によるオグエ・イヴィンド州訪問

22-23日、オグエ・イヴィンド州の州都であるマコクを訪問中のボンゴ大統領は、全国農業振興政策「Graine」の開始を宣言し、農業組合に対して公的承認及び土地証書を付与した。本件政策によって、同州の約4,000人が直接・間接的雇用等の裨益効果を受ける。（23日付UN）

4 生徒・大学生によるデモ行進の実施

23日午前、2月7日から続く教員のストライキによって授業を受けられない不満を政府に対して表明するため、リーブルビル市内の公立・私立学校の生徒及びオマール・ボンゴ大学の学生が平和的なデモ行進を行った。右行進は催涙ガス弾を使用する警官隊によって解散させられた。(24日付UN)

【外政】

1 ガボン・モロッコ関係

2日、ボンゴ大統領は、モロッコ国王の特使として派遣された外相と会談し、モロッコ国王のガボン訪問中に署名された26の協力協定の実施について協議を行った。なお、右協定は保健、交通、職業訓練、農業等多岐に亘り、総額1兆CFAフラン(約2,000億円)に上り、二国間共同検討委員会の設置が決定された。(3日付UN)

2 ボンゴ大統領によるワーキングランチ開催

5日、ボンゴ大統領はアメリカ大陸諸国の駐在大使を大統領府におけるワーキングランチに招待し、中部アフリカ情勢(安全保障、特にボコ・ハラム、原油価格低下による産油国への影響等)及び国内情勢(上院議長の任命、野党の動き等)に関し、約3時間に亘り意見交換を行った。(6日付UN)

3 中部アフリカ諸国銀行(BEAC)総裁によるボンゴ大統領表敬

9日、ボンゴ大統領はンチャマBEAC総裁(赤道ギニア出身)の表敬を受け、域内加盟国の経済情勢及び原油価格の急落につき意見交換を行った。同総裁は、経済の構造改革を理由に、域内の経済成長率は5%を維持する見方を明らかにした。(10日付UN)

4 ボンゴ大統領によるAFRICOM米司令官との会談

12日、ボンゴ大統領はデイビット・ロドリゲス・アメリカ・アフリカ軍(AFRIKOM)司令官と会談し、中部アフリカ地域の平和・安全保障及び米・ガボンの二国間軍事協力につき意見交換を行った。(12日付UN)

5 ボンゴ大統領によるナミビア訪問

21-22日、ボンゴ大統領はナミビア・ウィントフックを訪れ、ハーゲ・ゴットフリート・ガイゴブ新大統領就任式及びナミビア独立25周年記念式典に出席した。(23日付UN)

6 ボンゴ大統領によるボツワナ訪問

24日、ボンゴ大統領は、イアン・カーマ・ボツワナ大統領の招待を受け、動植物の違法取引対策に係る首脳会議に出席した。(25日付UN)

【経済】

1 ガボン・テレコム：2014年の業績良好

3日、モロッコ・テレコム(ガボン・テレコムの親会社)はガボン・テレコム2014年の業績を公表し、携帯電話部門の牽引によって、2014年の売り上げが1,087億C

FAフラン（前年比21%増）に上った旨発表した。同社の携帯部門は、4年前の参入以降、年間38.2%の成長率を記録している。（3日付UN）

2 コミログ・グループ：2014年業績悪化

3日、コミログ・グループは2014年の業績を公表し、2014年上半期に発生した鉄道事故及びマンガン価格の下落により、9,370億CFAフラン（前年比-9%）に留まった旨発表した。（3日付UN）

3 2015年予測経済成長率：4.8%

4日、イモンゴ経済相及びマニャニャ予算相同席の下、国家通貨・金融委員会が開催され、油価の急落にも拘わらず、経済の構造改革の継続及び投資の維持によって、2015年のガボンの経済成長率は4.8%に上ると予測された。（4日付UN）

4 食料安全保障及び栄養確保に資する農業セクターにおける投資拡大計画

13日、ガボン政府は、リーブルビル商工会議所において、国家農業投資・食料・栄養安全保障計画（PNIASAN）を発表した。右計画の目的は食料安全保障に資する農業セクターにおける投資の拡大であり、2014-2020年の総費用は4,000億CFAフラン（約800億円）に上る。（16日付UN）

5 ガボンに対する中国の40億CFAフランに上る借款供与

25日、当地訪問中のゾン・ジアンユア中国政府アフリカ担当特別代表は、ンゼンゲ外務副大臣との間で、ガボンに対する40億CFAフラン（約8億円）の借款に係る協定を署名した。（25日付GR）

6 BEACによる加盟国に対する融資額上限の拡大

27日、中央アフリカ諸国銀行（BEAC）は、昨今の加盟国の厳しい財政状況に鑑み、加盟国に対する融資額上限の拡大を決定した。ガボンへの融資額は従来の300億CFAフラン（約60億）から400億CFAフランに増額し、赤道ギニアのそれは600億CFAフランから1,200億CFAフランに増額した。なお、利率に変更はなく、2.95%。（27日付UN・GR）

7 第1回税制政策会議の開催

26-27日、ガボン政府は、ボンゴ大統領の後援の下、第1回税制政策会議を開催した。原油価格の下落によって国家歳入の著しい減少に直面しているガボン政府にとって、今次会議において現代的かつ魅力的な税制改革につき議論したことは、税収の確保、民間投資の促進、企業間競争の促進及び民間貯蓄の促進等の観点から大変有意義であった。（27日付UN）

8 鉱業：豪 Waratah Resources Ltd による探鉱ライセンス取得

大統領令は、豪 Waratah Resources Ltd に対し、チバンガ（銅・金）、ワカ（ニオブ）及びマコク（鉄）における探鉱ライセンスを付与した。（31日付GR）

出典：PR（大統領府公式HP）、UN（ユニオン紙）、GM（ガボン・マタン紙）、GN（ガボン・ニュース電子版ニュース）、AFP、GA（Gabonactu.com）、GR（ガボン・レビュー電子版ニュース）、LG（ル・ガボン電子版ニュース）、GE（ガボン・エコ電子版ニュース）